

カンボジア便り

カンボジアにはどんな町があるの？ Part.2

ラタナキリ州 ~宝石とゴムの木の街~



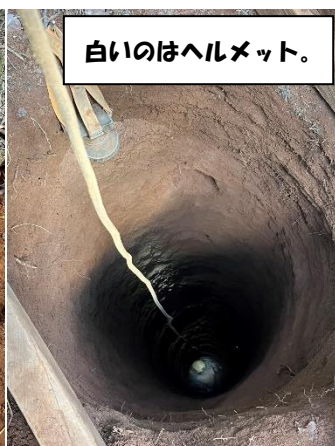
ラタナキリ州はベトナムとラオスに面した国境の街。この街にバスで向かう時、綺麗に整列した林がありました。それはゴムの木の林。身の回りにあるゴムは、木を傷つけて漏れ出た液体（樹脂）からできています。案内をしてくれたバンさんが引っ張っているのは、その樹脂。木にカップを付けて、流れた樹脂が溜まる様になっています。この樹脂を集めたり、木に溝を掘ったり、木を植えたり林を管理する仕事のお給料は、1日働いて約8ドル（日本円で約1200円）だそうです。大変なお仕事です。



ラタナキリは、「ラタナキリブルー」という有名な宝石の産地でも知られています。ブルージュルコンという鉱石で、見つけた時は黒いのに、加熱すると青や赤に色が変わる不思議な宝石です。今回は、その宝石の採掘現場も見学してきました。赤土を手作業で見つかるまでひたすら下に掘っていきます。深い穴は10m以上。命綱など無しで、土をバケツで上にいる人が運び上げます。この時見つけたのは鉛筆の芯程の粒が1つ。これを研磨すると、さらに半分ほどの大きさになってしまうそうです。命がけで大変な重労働ですが、穴を掘っても見つからなければお金は増えないから運任せの仕事だ、と言っていました。



手作業で巻き上げます



白いのはヘルメット。



見つけた鉱石。



奥は研磨後。

6月1日は国際子どもの日！

国際子どもの日をお祝いするイベントがありました。子どもたちの作品を飾ったり踊りの発表をしたり、先生がお店を出して料理を振る舞っていました。さんぽく祭のようですね！



6年生。/りが良い！